

令和8年1月吉日

福岡県臨床心理士会  
福岡県公認心理師会  
福岡県スクールカウンセラー協会 会員各位

（社）福岡県臨床心理士会  
会長 姫島 源太郎  
産業組織領域担当理事 芦谷 将徳

同じ職場で働く他職種の同僚から、「ちょっとさあ、相談に乗ってくれない？  
これってパワハラじゃないかなあと思うんだけど」  
あるいは、「職場だとなんだから、今度ご飯でもどう？そこでちょっと話を  
聞いてほしいなあ、LINE交換しよう」  
果てはその管理職から、「いやね、最近ある部下の様子が気になってね…  
あなたから話を聞いてくれない？」  
支援の現場においてチームの一員である心理職が、他のチームメンバーから  
さまざまな悩みや困りごとを相談されるとき、あなたならどうしますか？

本研修で扱う多重関係の舞台は、学校。  
「チームとしての学校」の一員であるスクールカウンセラーにとって、教職員は  
一緒に学校の問題解決に取り組む同僚であると同時に、コンサルテーション  
対象です。  
同僚として、でも、教職員から見たら第三者性がある専門職として、教職員  
自身の悩み相談や困りごとに触れたとき、どのような立ち回りがあるのでしょうか。

多職種協働、多職種連携。どの領域でもチーム体制が活発化するなかで、  
心理職としての立ち回りを考える研修会です。奮ってご参加ください。

## 日時

2026年2月15日（日）10:00～16:00

## 会場

西南学院大学 2号館4階 ※託児を実施予定

## 参加費

3,000円

## 定員

150名

## 申込期間

2026年1月19日（月）～1月31日（土）

## 講師

くっぺ 先生 元高等学校教諭、休復職の経験をもとに全国で講演活動  
山本 登 先生 社会医療法人 北九州病院 人事部メンタルサポート室  
山下 潤子 先生 福岡県教育庁北筑後教育事務所SCSV  
（社）福岡県スクールカウンセラー協会 筑後地区委員

※講師の基調講演、グループワーク、シンポジウムを  
予定しています。

多重関係をどう扱うか  
—産業領域から心理職の立ち回りを考える—

この研修は、一般社団法人福岡県公認心理師会及び福岡県スクールカウンセラー協会と共催です。

## 会場案内

## アクセス

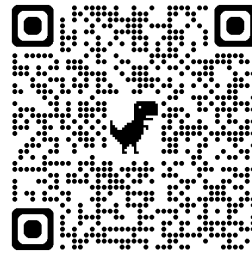
 地下鉄西新駅(1番出口) → 徒歩5分  
 西鉄バス「修猷館前」 → 徒歩5分



## 申込方法

<福岡県臨床心理士会 会員の方>  
 県士会HP マイページ

<福岡県臨床心理士会 会員以外の方>  
 申込フォーム



※マイページログイン後、  
 受付中の研修会欄をご覧ください。

## 連絡事項

・臨床心理士ポイントは、2ポイントです。  
 ・個々の要因でトラブルがあり不参加となった場合の参加費の返金、ポイント申請はできかねますので  
 ご了承ください。

お問い合わせ先

一般社団法人福岡県臨床心理士会 <http://www.fscpcp.com/>  
 産業組織領域研修委員 申込受付担当 野上・村上 ✉ [fcpsangyou@gmail.com](mailto:fcpsangyou@gmail.com)